

NEWSLETTER

James Joyce Society of Japan, May 2020



1. 大会の中止について

新型コロナウイルス感染の終息が見通せない中、政府の緊急事態宣言も一か月程度延長される事態となりました。現在、大会会場に予定されている大妻女子大学への立ち入りは原則禁止されておりますが、その解除の時期が読めない状況が続くこととなります。また、仮に一か月後にそれが解除されても、恐らく三密を避けるなど様々な対応を迫られることが予想され、参加者の数も限られる可能性が高いと思われます。こうした状況を踏まえ、大変残念ではございますが、今年度のジョイス協会大会は中止せざるを得ないと判断いたしました。会員の皆さまには多大なご不便をお掛けすることになり誠に申し訳ございません。ご理解の程何卒宜しくお願い申し上げます。

今後の対応について

先ず、研究発表につきましてはオンライン方式（ライブ配信型）やオンデマンド方式（記録配信型）で実施、シンポジウムは二つとも来年の大会へ延期し、下記の変更案を検討中です。総会については、新役員候補の発表と承認、また昨年度の会計報告及び今年度予算案の承認等がありますので、オンラインでの実施を中心に、必要に応じて郵便や電話で対応することを考えております。

研究発表（1）南谷奉良、ジョイスと〈鞭打つ者〉（flogger, lasher, whipper） →オンライン（ライブ配信型）で実施
—“An Encounter”と“Counterparts”における痛みの詩学

研究発表（2）東郷登志子、第12挿話「キュクロプス」のパロディ →オンデマンド（記録配信型）で実施
——R.エメット処刑場面に隠されたコード

総会 新役員候補の発表と承認、会計報告と承認 →オンライン（ライブ配信型）で実施

シンポジウム1：音楽、ラジオ、オーディエンス—ジョイスのサウンドスケープ →来年に延期
（パネリスト：横内一雄（兼司会）、永嶋友、平繁佳織）

シンポジウム2：Finnegans Wake (1939) IV pp.619-628—「アナ・リヴィアの独白」 →来年に延期
を読む（パネリスト：山田久美子（兼司会）、奥田良二、下川理英、宮原駿）

尚、オンラインでの研究発表および総会の時期については、準備が整った段階でお知らせする予定です。6月から9月末の間で予定しています。総会の資料は、事前にメールリストでお届けします。未登録の方は郵便で送らせて頂く予定です。メールリストに未登録の方はこれを機会に是非登録をお願い致します（次のページを御覧ください）。

2. 会員専用メーリングリストについて

ホームページでお知らせしましたように、経費節減と事務手続き簡略化のため、現在会員専用のメーリングリストを作成中です。メーリングリストに登録すると、joyceanjapan@googlegroups.comから配信されるメールを受信できるようになります。メーリングリストに既に登録された方には、今回からニューズレターの配信はメールのみにて行わせていただきます。まだ未登録の方には郵便でお知らせする予定ですが、将来的には全てのニューズレターを紙媒体からメーリングリストでのお知らせへと移行したいと考えております。

現時点では55名の登録が済んでおりますが、以前こちらから招待メールをお送りしたもののまだ承認手続きをいただいていない方には、後日、再度招待メールをお送りします。「承認」のボタンを押すだけの手続きですので、どうぞ宜しくお願い致します。

またメールアドレスを事務局にまだお知らせ頂けてない方は、お手数ですが事務局までお名前とメールアドレスをご連絡いただきますようお願い申し上げます。

3. 事務局連絡先

〒448-8542

日本ジェイムズ・ジョイス協会事務局

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学 外国語教育講座

道木一弘研究室内

Mail: joyceanjapan@gmail.com

協会ホームページURL :<https://www.joyce-society-japan.com>